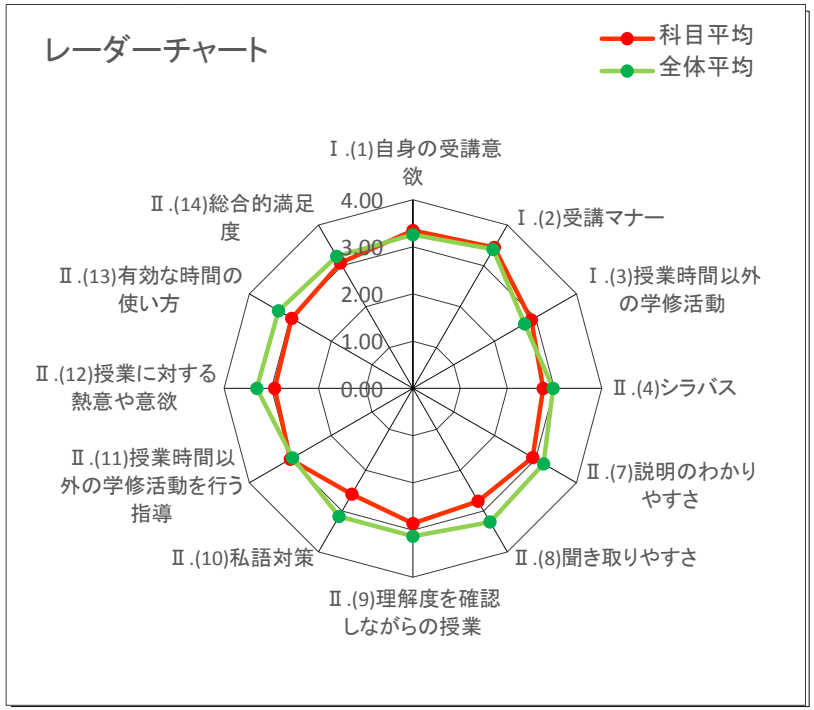
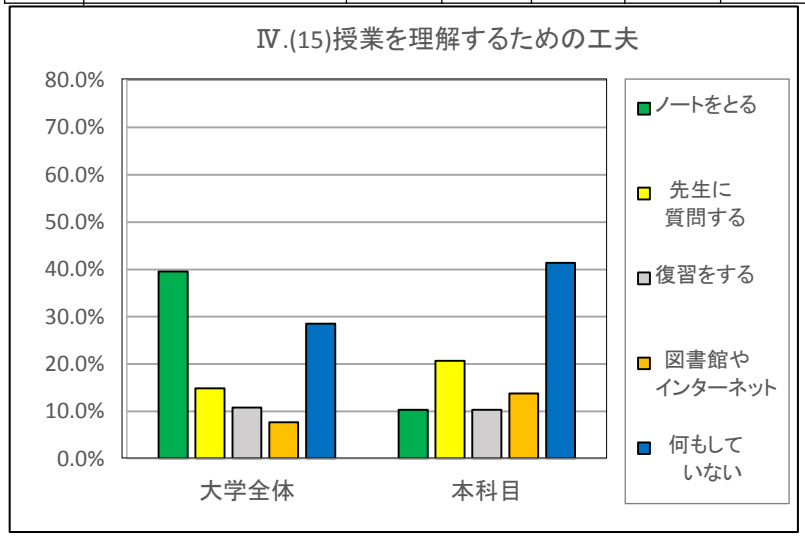
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.34	3.26
	Ⅰ.(2)	3.45	3.40
	Ⅰ.(3)	2.90	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.76	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.93	3.20
	Ⅱ.(8)	2.76	3.27
	Ⅱ.(9)	2.86	3.13
	Ⅱ.(10)	2.59	3.13
	Ⅱ.(11)	3.00	2.94
	Ⅱ.(12)	2.93	3.31
	Ⅱ.(13)	2.97	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.07	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	10.3%	20.7%	10.3%	13.8%	41.4%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.23	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	2.85	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.07	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	42102
科目名	情報機器の操作
教員名	

①授業計画の達成度について

授業の目的の認識については、初回の授業においてシラバス（訂正版）をプリントにて配布して目的を説明し、さらに毎回の授業で折に触れて目的を説明しながら本題に入っていったつもりですが、設問4の評価を見る限り、十分とは言えなかったようです。難易度については、高校までに受けて来た情報教育の差が非常に大きいために設定が大変困難でしたが、やや難しいと感じる程度に調整しながらおこなってきました。これは設問5や6の評価からほぼ適切であったと考えられます。

②授業の進め方について

説明のわかりやすさや聞き取りやすさという点で十分ではなかった（設問7、8の結果）ので、今後の最も改善すべき点であると考えています。理解確認や私語の注意は随時おこなっていましたが十分ではなかった（設問9、10の結果）ようです。授業時間外の学修活動が必要であることを説明し、少し多く演習問題を出すことで習慣づけるように試みましたので、その点はある程度理解が得られました（設問11の結果）。授業満足度は十分ではないと（設問14の結果）と判断できます。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

新規開講科目で学生のレベルが不明でしたので説明の仕方や授業構成など試行錯誤して学生の理解度に合わせながら調整して進めることを第一の目標として授業を行ってきました。目標や難易度という点では概ねねらいどおりであったと考えます。今後の授業改善の最重要課題は説明の分かりやすさ、理解度確認、私語対策などの授業の進め方という点です。できるだけポイントをまとめた板書や資料などにより視覚に訴えるよう工夫をするとともに、演習問題をする時間を十分にとって机間巡回による個別の質問への対応や私語対策をおこなって学生が満足できる授業にしたいと考えています。

奈良学園大学